



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

3月号 MAR 2018

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2月15日唐津地区極早生種



2月16日白石地区早生種



2月16日白石地区中生種

九州産地玉葱生育状況について

昨年の11月から続く野菜の高騰が未だに継続しています。各地域で低温、日照不足の影響で野菜出荷が増えてきていません。この状況はもう暫く続くようです。

玉葱は現在北海道産が主力となっております。品質面、供給量ともに問題なくこれまで推移して参りましたが、晩生種の肥大が予測より下回ったことにより、今後の数量は不透明になってきている状況です。

4月以降については府県産との切り替えとなりますが、折からの低温傾向により、各県玉葱の生育はまだこれからとは言え、遅れの傾向は間違いありません。この時期輸入となるニュージーランド産も干ばつによる小玉で不作となっており、今後玉葱の流通量が大きく減少する可能性があります、要注意と考えています。

その、気になる九州産地を2月13日～16日にかけて訪問して参りました。今回は熊本、福岡、佐賀と畑を視察させて頂きました。総じて苗自体は各産地順調な仕上がりとなったとのことです。また、種の量自体も各品種今期は不足することなく供給されており、この段階では問題はありません。定植も各産地順調に進み、概ね計画通り12月までに終了しています。今回視察は定植から3ヵ月前後となりますが、各産地共通して「遅れ」の傾向です。定植後に低温・日照不足が続いており例年より生育が7日～10日は確実に遅れている状況でした。佐賀県においては数年前から越冬べト病の対策を徹底していますが、病気自体の発生は続いており、今後気温上昇とともに注意が必要です。今回勉強になったのは「霧」が病気発生に大きく関わるというお話を伺いました。べト病は15度～20度の温度と多湿を好みます。今後は気温が上下しながらだんだんと暖くなっていくわけですが、その過程でべト病の好む環境が出来上がった時が要注意です。春先で温度が上がった翌日、また冷え込むことで霧が発生し、べト病が好む環境が整います。数年前の病気蔓延から佐賀県では特に病気への対策をしっかりと実施していますが、対策が功を奏することを祈るばかりです。

上記の通り、現時点では生育が遅れています。早生・中生種はこれからの生育次第となります。個人的な所感としては、生育日数が不足するような気がします。そんな状況ではありますが、弊社契約生産者様の高い技術力で、素晴らしい収穫を迎えられることを期待したいと思います。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

先月、青果の仲卸のみなさんと一緒に中東のドバイに行ってきました。ドバイはアラブ首長国連邦を構成する首長国のひとつで、人口は約250万人です。もともとは漁業や真珠の輸出が主な産業の小さな漁村でしたが、現在は大きな発展を遂げた中東屈指の都市で金融センターとしても有名です。観光客の数でもバンコック、ニューヨーク、パリに続いて世界で4番目だとか。ちなみに5番目は東京だそうです。

昔ながらのスパイスや宝石のマーケットや博物館も楽しめましたが、やはりなんといっても現代のドバイ発展を象徴する建築物の数々には圧倒されました。

世界一高い超高層ビルでのブルジュ・ハリファ。映画ミッションインポッシブル/ゴースト・プロトコルで一躍有名に。全高は828mで、そのデザインは花びらが放射状に延びることからイメージされています。夜は摩天楼のようにこのビル全体をディスプレイのようにライトアップしたショーが楽しめます。

ペルシャ湾に浮かぶヤシの木のような形をした人工島、パーム・ジュメラ。上から見るとほんとうにヤシの木の形をしていて、幹に当たる部分から、枝に当たる部分が16本延びています。何年か前に工事が始まる前の様子をNHKのニュースで見たときには冗談かと思いましたが、今や観光地、別荘地として世界的に大きな人気を呼んでいます。さらに、この島の埋め立てにより、ドバイの海岸線の長さは2倍になったそうです。

どうしてドバイがこれほどまでの発展を手に入れることができたのか？ドバイ在住15年の知識が豊富で、話も上手い同行のガイドさんに尋ねてみました。それは20世紀半ば頃のドバイの首長の先見の明だそうです。近代化を目指したドバイは稼いだお金を中継貿易港としてのインフラ事業、大きな港の整備を進めました。このことが以後の大発展の基礎を築いたそうです。当時は、周りの国々からも「いったい誰が使うのか？」という反対や非難の声がほとんどだったそうです。

ビジネスにおいて次の時代のために、いま何をするべきなのかということを考えさせてくれるドバイ発展のエピソードです。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。

<http://www.kino-company.com>

営業課長中村のマルト便PLUS！Ver2018

本年もどうぞよろしくお願いいたします。
3月のマルト商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産の品質良好。サイズも偏りなく入荷しています。少量ではありますが、新玉葱も対応が可能です。4月いっぱいまでは相場連動の値決めとなりますがご興味ございましたらお問い合わせください！
中国	甘粛省は終盤になりましたが、品質良好です。どんどんご注文くださいませ。4月中旬頃から次産地である雲南省産へ産地切り替えとなります。
USA(黄玉) NZ(黄玉)	アメリカ産黄玉葱も終盤となりました。こちらも品質は良好で、3月中旬頃までの供給となります。4月以降のニュージーランド産については不作の見込みで、赤玉葱についてはオーストラリア産を中心に仕入を進めています。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315